

聖書 新改訳 2017

Bible Translation News

ニュースレター

(改題「生まれ変わる聖書・新改訳」)

2

10月発行
2015年

発行 一般社団法人 新日本聖書刊行会 発行人 年代照夫 〒160-0004 東京都新宿区四谷二丁目8番地 コーポクローバ/瀧尾701号

Tel.&Fax.03-3350-5523 e-mail: honyaku@seisho.or.jp http://www.seisho.or.jp/

名称は『聖書新改訳 2017』に

教会代表委員会委員長 藤本 満



二〇一七年、それはプロテスタント教会にとって、特別な年です。

宗教改革五百年です！ 新しい翻訳聖書は、当初、宗教改革五百年記念を意図して発行の目標設定をしてきたわけではありません。しかし、まさに神の摂理です。

記念すべき「2017」を新しい聖書の名称に入れることに決めました。改訂のレベルは大改訂です。ここで全く新しい名前を入れることも可能でしょう。しかし、一九七〇年に新改訳聖書の第一版が出されて以来の翻訳理念を受け継いでいることを明確にするために、「新改訳」の三文字を新しい聖書の名称に入れることになっていました。そこに加えて、「2017」という、教会にとって決定的に重要な年号が加わります。

二〇年、三〇年単位で、さら改訂が進んでいくとき、その年の数字を入れることで、同じ翻訳理念で、その時代にふさわしく改訂がなされていくことが明確になります。

宗教改革を押し出したルターは、人が救われるのはキリストの十字架を信じる信仰のみによることを体験していました。その福音の体験を彼はどこから得たのでしょうか？

修道の業を通してでしょうか？ ミサにあずかることによってでしょうか？ いや、彼が福音を再発見したのは聖書の学びを通してでした。神の声は聖書から響いてきました。ですから私たちは聖書と説教を重んじます。

もし聖書がラテン語でなくドイツ語に翻訳されていたら、だれもが神の恵みの声を聞き、十字架の恵みにあずかることができる——。ルターは、自分を破門し、捕らえようとすする教会の手を逃れ、ヴァルトブルク城に匿われました。そこで一年かけて、一気に新約聖書をギリシャ語からドイツ語に翻訳します。その聖書は、グーテンベルクが開発した印刷技術で国中に頒布されていきます。

宗教改革は、教皇や教会会議の過ちを指摘し、「教会が教会たり得るのは、教会が聖書の前にへりくだるときである」との聖書原理を確立しました。それから五百年です。聖書が現代の日本語にふさわしく整えられ、またさらに適切な翻訳を求めて、私たちは新しい聖書に期待します。この聖書が日本を駆け巡り、みことばの力を教会に吹き込むことを待ち望みます。この新しい聖書翻訳事業のために祈りをもって、財をもって支えます。

読み比べてください 〈詩篇1篇〉

【新改訳2017】

- 1 幸いなことよ
 悪しき者のはかりごとに歩まず
 罪人の道に立たず
 嘲る者の座に着かない人。
- 2 主のおしえを喜びとし
 昼も夜も そのおしえを口ずさむ人。
- 3 その人は
 流れのほとりに植えられた木。
 時が来ると実を結び
 その葉は枯れず
 そのなすことはすべて栄える。
- 4 悪しき者は そうではない。
 風が吹き飛ばすもみ殻だ。
- 5 それゆえ 悪しき者はさばきに
 罪人は正しい者の集いに 立ちえない。
- 6 まことに 正しい者の道は主が知っておられ
 悪しき者の道は滅び失せる。

*新改訳第三版から変更した箇所は青字で表記。
 *この提案は最終的なものではなく、さらに改善
 が加えられるかもしれません。
 *口語訳、新共同訳（財団法人日本聖書協会）は、
 比較のための参考資料です。

【新改訳第三版】

- 1 幸いなことよ。
 悪者のはかりごとに歩まず、
 罪人の道に立たず、
 あざける者の座に着かなかつた、その人。
- 2 まことに、その人は主の教えを喜びとし、
 昼も夜もその教えを口ずさむ。
- 3 その人は、
 水路のそばに植わった木のようなだ。
 時が来ると実がなり、その葉は枯れない。
 その人は、何をしても栄える。

- 4 悪者は、それとは違い、
 まさしく、風が吹き飛ばすもみ殻のようなだ。
- 5 それゆえ、悪者は、さばきの中に立ちおせず、
 罪人は、正しい者のつどいに立てない。
- 6 まことに、主は、正しい者の道を知っておられる。
 しかし、悪者の道は滅びうせる。

【口語訳】

- 1 悪しき者のはかりごとに歩まず、
 罪びとの道に立たず、
 あざける者の座にすわらぬ人はさいわいである。
- 2 このような人は主のおきてをよろこび、
 昼も夜もそのおきてを思う。
- 3 このような人は流れのほとりに植えられた木の
 時が来ると実を結び、

その葉もしほまないように、
 そのなすところは皆栄える。

- 4 悪しき者はそうでない、
 風の吹き去るもみ殻のようなだ。
- 5 それゆえ、悪しき者はさばきに耐えない。
 罪びとは正しい者のつどいに立つことができなない。
- 6 主は正しい者の道を知られる。
 しかし、悪しき者の道は滅びる。

【新共同訳】

- 1 いかにか幸いなことか
 神に逆らう者の計らいに従って歩まず
 罪ある者の道にとどまらず
 傲慢な者と共に座らず
- 2 主の教えを愛し
 その教えを昼も夜も口ずさむ人。
- 3 その人は流れのほとりに植えられた木。
 ときが巡り来れば実を結び
 葉もしおれることがない。
- 4 神に逆らう者はそうではない。
 彼は風に吹き飛ばされるもみ殻だ。
- 5 神に逆らう者は裁きに堪えず
 罪ある者は神に従う人の集いに堪えない。
- 6 神に従う人の道は主は知っていてくださる。
 神に逆らう者の道は滅びに至る。

詩篇の訳文の特徴

翻訳編集委員長 津村俊夫

●和語を大切にし、原文が透けて見える(トランスパレントな)新改訳の翻訳伝統を大事にしつつ、改善すべき所は思い切って変えました。

「幸いなことよ」は、いろいろと可能性を検討した結果、従来の訳に落ち着きました。「幸いな人よ」は、呼びかけと間違える可能性もあり採用しませんでした。「なんと」を冒頭に表現するのは、詩の最初の語としては収まりが悪いと判断しました。

▽「悪者」は、詩篇においては、文脈に応じて「悪しき者」と訳すことにしました。「悪しき者」(1節)は、単に「正しい者」と反対の「悪者」一般を指すというよりも、「正しい」方、神に敵対する者という特別な意味合いを持たせています。それゆえ、「悪しき者の道」(6節)は「滅び失せる」運命にあるのです。

▽「流れのほとりに植えられた木」(3節)は、結果的に、口語訳と同じになりました。和訳史上の良き伝統を大切にしました。「木」は、「嘲る者の座に着かない人」(1節)、「そのおしえを口ずさむ人」(2節)と同じく体言止めにして、表現を簡潔にしています。

●表記に関すること

▽漢字の使用が増え、読みやすくなった一方、従来通り、平仮名表記を意図的に踏襲しているところもあります。例えば、

・「嘲る」(1節)、「もみ殻」(4節)
・「おしえ」(2節)、「はかりごと」(1節)

▽神の「おしえ」は、人間の「教え」と区別。

●積義的に改善されたところ

▽並行法の技法

・6節では、「正しい者の道」(目的語)と「悪しき者の道」(主語)が対比され、「主が知っておられ(る)」と「滅び失せる」が対比されています。

▽詩の構造と比喩

・1節では、「悪しき者」から「罪人」へ、「罪人」から「嘲る者」へと、一般から特殊へと主題が絞り込まれています。また、5節では「悪しき者」と「罪人」が、6節では「悪しき者」のみが「正しい者」と対比されています。

・2節の「喜びとする」「喜び」は名詞)とは、その人の心と思いをいつも占有しているものが「主のおしえ」であるということを表示しています。直訳は「その人の喜びが主のおしえにある」ですので、第三版の訳を保持しました。

▽「そのなすこと」(3節) 木がもたらすもの(実・葉)と人が為すこと(業)の両方を指し得るように工夫しました。3節は、最後の所で、木から人への転換が暗示されています。

・4節直前に一行空けをして、全体を二部に分けました。
・4節の「悪しき者は そうではない」は、従来のように「そうではなく」と、後半につなげるのではなく、前半で言い切ることで、三つのレベルの対比(コントラスト)がより良く表現されるようになりました。「悪しき者」は「そうではない」、すなわち、①「榮える」(3節)ではなく、②「木」(2節)ではなく、③「もみ殻」(4節)であり、④「主のおしえを喜び」とする「幸いな……人」(1節)ではないと。

▽詩篇において、読点を廃止したことによって読みやすくなったこと、全体的に表現が簡潔になったことも今回の改訂の特徴です。

新改訳聖書の全面改訂による新しい翻訳聖書の刊行事業

1. 1961年から始められた新改訳聖書の歩み

1961年9月に新改訳聖書刊行会が設立され、同年11月には代表者28名からなる協力が会が発足しました。それは「聖書は誤りない神のことば」と信じる福音主義に立つ諸教派、諸教会、諸団体の祈りと協力によって、新しい聖書翻訳が行われるためでした。編集委員6名、原訳者33名、研究員10名、国語顧問3名による「新改訳聖書」旧新約全巻の翻訳は8年6ヶ月を費やして完成し、1970年に出版されました。その後、第二版(1987年)で若干の訂正、第三版(2003年)では差別語・不快語の見直しを中心とした小改訂を行いました。

2. 新日本聖書刊行会が生み出されるまで

ここ数年に亘って、福音派の諸教会、諸団体の中で、新たな聖書翻訳に向けての話し合いと祈りが積み上げられてきましたが、その事業体として「一般社団法人新日本聖書刊行会」が2009年1月に設立されました。その目的は「新改訳聖書の改訂による新しい翻訳聖書の刊行」でありました。そのために「新改訳聖書」の著作権所有者である「一般社団法人新改訳聖書刊行会」と合併し、その著作権を継承しました。新改訳聖書の頒布の責任を担ってきた「日本聖書刊行会」は同年9月をもって解散しました。

3. お祈りとともに、ご支援ください

新しい時代に相応しい聖書(新改訳聖書の改訂による翻訳聖書)刊行のためには、多くの時間と労力と費用を必要とします。翻訳編集委員会の翻訳改訂作業とその必要のためにお祈りください。献金の宛先は下記。

聖書翻訳の6つの理念

あらたな翻訳聖書は、下記の6つの理念に基づいて翻訳・出版されます

1 聖書信仰

聖書を読みなき神のことばと告白する、聖書信仰の立場に立つ。

2 委員会訳

特定の神学的立場を反映する訳出を避け、言語的な妥当性を尊重する委員会訳である。

3 原典に忠実

ヘブル語及びギリシャ語本文への安易な修正を避け、原典に忠実な翻訳をする。

4 文学類型

行き過ぎた意訳や敷衍訳ではなく、それぞれの文学類型(歴史、法律、預言、詩歌、ことわざ、書簡等)に相応しいものとする。

5 時代に適応

その時代の日本語に相応しい訳出を目指す。

6 今後も改訂

聖書研究の進展や日本語の変化に伴う必要な改訂を行う。

献金のお願い

御名を崇めます。

皆さまのお祈りと献金のご協力で改めて感謝申し上げます。

当刊行会は創立から7年目を迎えました。2年後の2017年9月末に「新しい翻訳聖書」の刊行を目指して急ピッチで作業を進めております。本格的な翻訳改訂作業を開始して以来4年6カ月、その間の経費は9300万円(累積11100万円)となりました。財政基盤の乏しい中でしたが、収入全体の50%を新改訳聖書の印税収入、40%を諸教会・団体・及び個人からの献金、そして10%を翻訳ファンドによって資金を調達することが出来ました。皆さまのご協力があったからだと感謝しております。

2年後の2017年9月末の刊行までの必要経費をおおよそ5000万円と見積もっております。印税収入は「新改訳聖書」を購入いただいた皆様からの「形」をかえた献金と受け止めて、翻訳改訂のために全額使わせて頂いております。しかしながら、収入の根幹を占める印税収入も「新しい翻訳聖書」の刊行が近づくにつれて大きく減少することは避けられません。その事態に対処すべく、皆さまに「翻訳ファンド」をお願いしたのですが、事業継続(ランニング)資金として一定額を留保する必要がありますので、全額を使い切ることは出来ません。そのために、必要経費5000万円が満たされるように、お祈りとともに献金のご協力をお願い申し上げます。

皆さまの上に主の祝福をお祈り申し上げます。

在 主

理事長 竿代 照夫

財務担当理事 倉嶋 文雄

【郵便振替】00190-5-678487
一般社団法人 新日本聖書刊行会